馬術部

馬術部は、1983 年(昭和 58 年)に創部し、今年で 38 年目を迎えます。当時は２頭の馬と生徒３名でスタートし、２年後には馬房と部室を新築し、全国大会を目標に本格的に始動することになりました。創部３年目の 1986 年(昭和 61 年)には第 20 回全日本高等学校馬術競技大会で３位入賞し、翌年の国民体育大会では少年貸与馬障害飛越競技で団体３位の成績を収めた。また、1988 年（昭和 63 年）の第 22 回全日本高等学校馬術競技大会では団体優勝を成し遂げました。

1991 年（平成３年）には国際試合である第 10 回日韓馬術大会を、翌年には秋篠宮文仁親王殿下および親王妃紀子様の御列席を賜り、第 26 回全日本高等学校馬術競技大会が本校で開催されました。また、東四国国体の開催もあり、本校馬術部が強化拠点となり、全国大会や国体で活躍するようになりました。

1997 年（平成９年）に、当時の校長の尽力により練習用馬場と柵が新設され、これを記念して「第１回主基杯争奪障害飛越競技大会」が開催され、翌年からは「主基杯馬術大会」と名称変更し、第９回からは日本馬術連盟公認の馬術大会として開催されるようになりました。

近年においても、地方および全国の各馬術競技大会で優勝や入賞の好成績を収めています。現在は、乗用馬８頭、ポニー２頭の１０頭を飼育し、部員数９名で毎日、活動しています。

【卒業部員の主な進路】
『進学先』
明治大学・日本大学・中央大学・東京農業大学・専修大学・日本獣医生命科学大学・福井工業大学など
『就職先』
ノーザンファーム・松風馬事センター・北総ファーム・大山ヒルズ・ビクトリーホースランチ・吉田ファーム・カナディアンキャンプ・辻牧場など